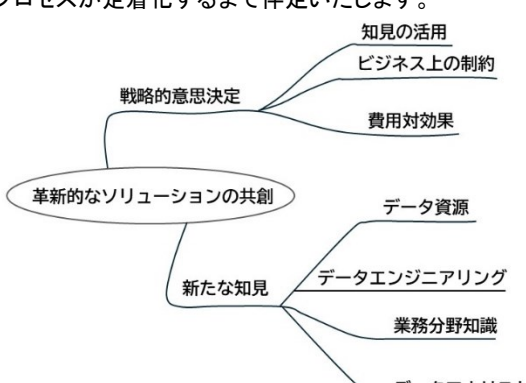


データサイエンス	【代表的な研究テーマ】 □ データサイエンスの社会実装推進
key word	
■ データサイエンス社会実装推進 ■ 戦略的意思決定 ■ プロジェクト管理 ■ 新規事業開発	課題解決に役立つシーズの説明 はじめに： グローバルトップ IT 企業にて、長年にわたり企業や自治体のデジタル化に取り組んできました。新規ビジネス開発、M&A、統合計画、事業撤退などの戦略的意思決定にも数多く携わってきました。豊富な国内外での DX プロジェクト経験をもとに不確実な外部環境下における生成 AI 時代の判断（ヒト、モノ、カネ、時間の配分）のサポートも可能です。データ駆動型社会に応じた情報連携によるデジタル変革をお客様と共に実現させたいと思います。
	企業・自治体連携プロジェクトにおける KSF (Key Success Factor) を意識して： ① 目指すゴール設定 ・新しいビジネスチャンスを広げられるような革新的な目標を定めます。 ・競争優位性を確立できるような方向を目指します。 ② 検討対象テーマ ・解決すべきビジネス上の課題を抽出し、優先度を考慮して最重要課題を選定します。 ・あくまでもデータサイエンスによって解決可能なテーマを検討対象とします。 ③ データ前処理 ・分析に必要なデータの取得ができることが前提条件になります。 ・データ取得のコストが高すぎないこと、ビジネス上の制約にも留意します。 ・データ整備、データ品質の評価をします。 ④ お客様側のプロジェクト推進体制 ・プロジェクト実施の責任部署と実施体制が明確であり、トップの本気度があること重要な条件です。 ⑤ データサイエンス技法（モデリング） ・適用する手法（モデル）は業務の要件に適していることを確認します。 ・ビジネスの問題解決にとって意味がある取り組みを共に考察します。 ・選択した手法（モデル）はお客様にとって理解可能なものを目指します。 ⑥ 社会実装 ・導き出したソリューションを実際のプロセスに対して導入することを支援します。 ・運用フェーズに円滑に移行できるように実装上のすりあわせを支援します。 ・データ分析を生かした意思決定プロセス改善への手助けをいたします。 ・現場業務に改善プロセスが定着化するまで伴走いたします。
深谷 良治 Ryoji Fukaya	
データサイエンス・AI イノベーション 研究推進センター 特任教授	
【プロフィール】 ・1984 年 東京大学経済学部卒業（統計：竹内ゼミ） - 日本電信電話公社入社 ・1989 年 Stanford 大学 工学部 Engineering-Economic Systems, Master of Science ・1990 年 NTT インターナショナル（米国） ・1995 年 NTT ファン企画 ・1997 年 NTT/NTT コミュニケーションズ ・2000 年 NTT オーストラリア ・2004 年 NTT レゾナント ・2006 年 NTT データ ・2011 年 NTT Data Asia Pacific, CEO ・2019 年 海外通信・放送コンサルティング協力, Chief Digital Advisor ・2022 年 滋賀大学 現職 【主な社会的活動】 ・情報通信学会 ・情報処理学会 ・プロジェクトマネジメント学会 ・日本統計学会 ・2015 年 シンガポール日本商工会議所 運輸・通信部会長 ・2017 年 同上 副会頭	
	企業・自治体へのメッセージ ・戦略的意義が高いテーマの共同研究を希望します。 ・論理的思考により戦略立案と質の高い意思決定をご支援します。 ・データサイエンスの社会実装に関して幅広い視点から助言させていただきます。 ・プロジェクト管理・データ管理の経験共有から実装後の定着化までアドバイスいたします。